

その他サービス業



システムの活用で本質的な業務改善を目指す



既存システムの改良と現場運用の工夫で 業務効率と営業活動を向上

背景・課題

日々の受注管理や販売管理をシステム化していたものの、実際の運用では課題が残っていました。具体的には、注文ごとの予測システムの活用が不十分で、効率的な業務運用が妨げられていました。また、業務の標準化や一度作成した仕組みを全社員で共有しきれていない点も問題で、業務が属人化してしまう状況でした。

創意工夫した点・得られた成果・今後の展開

既存の注文予測システムを改良し、次回受注計画の作成に活用できる仕組みを整えました。これにより、無駄な作業時間を削減するとともに、属人化を防ぐことができました。全体の業務効率が向上したことで、営業活動に専念する時間を確保し、営業チーム全体の生産性が大きく向上しました。今後は、業界全体のデジタル化・DX化推進にも貢献できればと考えています。



トリー株式会社

代表取締役社長 鳥居 宏臣

本社 愛知県西尾市一色町味浜江向36

